

平成23年6月16日
第19回日本社会福祉士会全国大会・
社会福祉士学会京都大会実行委員長
河上高志

(社)千葉県社会福祉士会
会長 神山 裕也 様

第19回日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会(京都大会)

千羽鶴の進呈について

拝啓

貴会におかれましては、3月11日の東日本大震災を受け、被災者支援及び会員・支援者へのバックアップにとご多忙のことと存じます。

この度、京都におきまして開催いたしました第19回日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会(京都大会)では、被災された方々に対し、社会福祉士として、社会福祉士会としてできることについて全国の会員と議論を重ね、大会宣言を採択いたしました。既に日本社会福祉士会のホームページ等でもご確認いただいているかもしれませんが、同封させていただきましたので、是非ご確認ください。

さて、今回の大会期間中、京都大会実行委員会の呼び掛けに応じてくださった大会参加者の方々のご協力により、「被災地域の一日も早い復旧・復興、被災された方々の安心できる生活の回復、さらに支援に関わる方々の安全」の願いを込めた千羽鶴を六本完成させることができました。閉会式の前には岩手県社会福祉士会の千葉昭好会長に被災六県の社会福祉会を代表して、お受け取りいただきました。

この千羽鶴を作成にご協力いただきました全ての方々に代わりまして、被災地である貴会に進呈させて頂きたいと存じます。

何卒、趣旨をご理解いただき、ご査収いただけましたら幸いです。

これを機に、各都道府県社会福祉士会のつながりを密にし、互いに連携することで、よりよい支援が行えるように、しっかりと取り組んでいきたいと考えておりますので、今後とも、よろしく願いいたします。

敬具